

三股・ひかり保育園

# 自然と触れ合い元気に

## 園内に「ビオトープ」完成



完成したビオトープガーデンの池に水生生物を放流する園児ら

## 子どもら水生生物放流

三股町・ひかり保育園(園長久園長、61人)の敷地に、生物の生育空間「ビオトープガーデン」が完成した。園児たちが身近に自然と触れ合うことができ、園長

(39)は「生き物を観察しながら遊びも楽しめる空間。子どもたちが心豊かに育てられれば」と話している。ビオトープガーデンは、同園が多目的施設を建設するた

めに購入した隣接する土地の残りスペースを活用して造った。デザインは南九州大の環境芸学部や人間発達学部の協力を得て設計。デザイン作品は昨年11月、都市緑化機構などによるコンテストで上から2番目の「緑化大賞」に選ばれた。

受賞で得た助成金を元に、2月から整備を開始。広さは1297・5平方メートルで、生物がすめるように木や石などを置いた池や山を造ったほか、カフトムシが集まりやすいシマトネリコ、ミカンやキンカンの木なども植栽。自然あふれる庭となっている。11日には水生生物の放流式があり、園児たちは元気に育つように願いを込めながら池にカニやオタマジャクシなどを放った。同大学環境芸学部の関西剛康教授(47)は「自然環境教育の場であり、身近に水生生物や昆虫、植物などに触れることができる。子どもたちには楽しんでもらいたい」と話していた。